



# 鈴鹿市議会だより

■発行/鈴鹿市議会 ■編集/鈴鹿市議会広報広聴委員会

三重県鈴鹿市神戸一丁目18番18号 TEL.059-382-7600 <http://www.city.suzuka.lg.jp/gikai>



鈴鹿市消防操法大会  
(H20.9.21)



鈴鹿市学校給食センター  
竣工式(H20.9.23)

## 9月定例会のあらまし

9月定例会は、9月1日から30日までの30日間の日程で開催されました。本定例会では、平成20年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)についてなど議案25件が市長から提出され、議案質疑、各委員会での審査の後、討論及び、採決の結果それぞれ原案のとおり可決及び認定されました。また議員提案による、「義務教育費国庫負担制度の存続と、負担率2分の1への復元」を求める意見書ほか7件の発議案が1日と30日の本会議で提出され、原案のとおり可決されました。尚、意見書については関係機関へ送付し、その実現について要望しました。(議決一覧については10ページに記載)

### 主な内容

- 一般質問……………2～8P
- 委員会活動状況……………8～9P
- 議会の動き……………9P
- 9月定例会議決一覧……………10P
- 12月の会議日程……………10P

### 議員からの寄付は禁止されています

議員(候補者を含む)が、親睦旅行会・会合・お祭り・運動会等の行事に、寄付や差し入れなどをしたり、祝い金(出産・新築等)や贈り物をすることは、公職選挙法等により罰則をもって禁止されています。また、要求した人や受け取った人も同様に罰せられます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## あくていぶ21 伊藤 健司 議員

- 1 鈴鹿市療育センターについて  
(1) 改修・増床後の利用日数や人数、  
専門職員配置等の充実について
- 2 産学官連携によるものづくり支援  
(1) 行政(官)の役割について

**質問1(1)** 本市は、就学前の障がい児に対する保育や訓練の質が遅れているが充実させていくのか。

**答弁1(1)** 面積は4割強増え、利用定員は20名から30名に増やす。保育士は3名増員するが、作業療法士や理学療法士等、訓練を行う専門職員の配置は鈴鹿市として考えていない。充実させる予定はない。また、児童デイサービス事業所として就学後の障がい児対応に

ついても、就学後は学校が役割を担うべきであるので、鈴鹿市としては就学後のデイサービス利用は考えていないし、サービスを提供するつもりはない。

**質問2(1)** 本市の中小企業の実情や課題に応じたものづくり支援と行政(官)の役割について。

**答弁2(1)** 産学官連携における行政の役割は、産学連携が促進する環境づくりであり、産業政策課ものづくり支援室では、ものづくり研究開発事業補助、企業ニーズに合致した高等教育機関との連携強化を実施している。今後は産学連携を通じた新事業・新商品創出や雇用創出を図っていくなかで、産学官連携による新商品等のPRを積極的に行っていくためにも企業業態の把握が必要であるので、企業データベースの構築を検討していく。



## 市政研究会 水谷 進 議員

- 1 市民の安心安全について  
(1) 金融詐欺被害撲滅について
- 2 防災について  
(1) 災害時での食事供給体制について
- 3 スポーツ施設について

**質問1(1)** 市内での「振り込め詐欺」の被害状況及び行政としての取り組みについて。

**答弁1(1)** 1月から6月までの被害件数は13件、被害額は640万円である。消費生活に関する相談窓口として平田町駅前にある「鈴鹿亀山消費生活センター」での相談の他、「出前講座」等を行っている。

**質問2(1)** 炊き出し拠点や何を供給するのか、また給食センターの役割は何か。

**答弁2(1)** 市内に※アルファ米など約36,000食を備蓄している。炊き出し拠点は小学校19校と中心的な役割を果たす給食センターである。 ※米飯を炊いた後に乾燥させたもの

**質問3(1)** 石垣池陸上競技場が全天候型となったが、今後の利用方法は。また、障害者用トイレ等の改修の計画はあるのか。

**答弁3(1)** 雨の影響という問題点が解消されるので、一般市民への利用拡大や地区の体育祭などにも利用して頂きたい。障害者用トイレなどに付いては、計画的な整備を進めてまいりたい。

**質問3(2)** 鈴が谷運動公園の利用中止について。

**答弁3(2)** ボールが外に飛び出す為10月1日から使用を中止。今後アンケート結果も参考にし、利用方法を検討したい。サッカー等は通常通りである。



## あくていぶ21 青木 啓文 議員

- 1 行財政運営のあり方について  
(1)※プライマリーバランスと債務償還額について  
(2) 行財政改革の経緯について  
(3) 基本方針別意見書について
- 2 景観づくりについて ※財政の基礎的収支

**質問1(1)** プライマリーバランスと借入残高から、限られた財源の有効活用を図り、最大限に効率的な行財政運営が必要であると思うが如何か。

**答弁1(1)** プライマリーバランスは平成19年度一般会計決算で約40億円の黒字で、引き続き、黒字化を目標に財政運営をおこないたい。

**質問1(2)** 【集中改革プラン】の平成17・18年度実績の進捗状況に関し、意見書の「全体的な意見」について、

取り組みや見解は。

**答弁1(2)** 各部署と、目標設定の明確化や客観的評価に向けた協議を行い、取り組み経過の説明責任を果たしたい。

**質問1(3)** 基本方針別意見の4項目。①学校給食調理②公立幼稚園③公立保育所④土地開発公社について市長の考えは。

**答弁1(3)** 職員が一致団結し、今取り組むべきことを実行し、行財政改革を推進していく。

**質問2** 石薬師町での交差点改良とまちづくりは。

**答弁2** 国道と県道との交差点改良について、宿場町にふさわしいものにしようとして地元・県・市が話し合いを重ね、宿場町の景観をどのように形成するのかについても将来的な話し合いが始まりつつある。



## すずか倶楽部 中西 大輔 議員

- 1 鈴鹿市での循環社会の形成について
  - (1) ※1バイオマス由来燃料への取り組みは
  - (2) 廃食用油の※2BDFへのリサイクル
  - (3) 他地域モデルの活用について
  - (4) 今後の取り組みについて

**質問1(2)** 学校給食廃食用油の利用は可能か。廃食用油から精製されるバイオディーゼル燃料はC-BUSなどに利用可能か。

※1サトウキビやトウモロコシから取れる燃料  
※2バイオディーゼル

**答弁1(2)** 学校給食廃食用油利用は可能。バイオディーゼル燃料が、※3品確法に適合し、安定供給が可能であれば、C-BUSなどに利用は可能。

※3揮発油等の品質の確保に関する法律

**質問1(3)** 家庭廃食用油回収にポイントなどを付与し、農産物直販所などで利用可能にし、農水産業者への補

助金として活用を考えられるか。耕作放棄地で油糧作物生産は可能か。観光資源として油糧作物の可能性は。質問で提示した循環システムは、教育現場での活用は可能であるか。

**答弁1(3)** 家庭廃食用油回収には課題もあり今後検討していく必要がある。油糧作物の生産は耕作放棄地の有効活用は先進地事例とも照らし合わせ検討し観光資源としての活用は検討の余地はあるものの課題も多いと考えている。教育現場での学習に取り入れる活用はできるものと考えている。

**質問1(4)** 循環システムの形成に、市は前向きに検討していくことはできるのか。

**答弁1(4)** 課題を明確にし、実効性のある計画が具体化し全市的に確実に機能するならば、今後、検討は可能。



## 公明党 池上 茂樹 議員

- 1 地域と連携した教育活動の推進について
  - (1) 学校支援ボランティアの現状について
  - (2) 地域を活用した今後の教育活動の推進について
- 2 鈴鹿市の不登校の現状とその対策について

**質問1(1)** 学校、保護者、地域と連携した学校支援ボランティアの現状と今後の学校支援ボランティアの拡充は。

**答弁1(1)** 学習ボランティアは759名、学習活動以外では、図書館の整理・運営、花壇の整備等の環境美化活動で512名、安全安心に関しては4,014名の方々のご支援により、教員が子どもと向き合う時間が確保できる

ようになった。環境整備の支援は、現在6校で、今後具体的な支援活動を記載して募集していく。

**質問1(2)** 地域には、多種多様の専門性や特技を持った方々が居るが、地域を活用した今後の教育活動の推進は。

**答弁1(2)** 地域の方の知識等を次世代を担う子どもたちに生かすことができる人材バンクをつくる。

**質問2** 全国の小中学校で07年度の「不登校」が12万9,254人と06年度より1.9%増加しているが、本市の「不登校」の現状と対策は。

**答弁2** 06年度267人、07年度218人。中学校10校には、カウンセラーを配置し不登校生徒への対応や教育相談を実施している。



## 政友会 鈴木 義夫 議員

- 1 学童保育所の設備資金補助金制度について
- 2 道路工事等の促進について

**質問1** 学童保育所の必要性は年々高まっている。しかし、その設備資金の補助金制度は極めて主体性に乏しく、「こども未来財団」が補助金をだす場合のみ、それに便乗して当市も不足分を補助するが、それ以外はほとんど支援しない制度である。何とかならないか。

**答弁1** 近隣他市にはかなり手厚い補助金制度を持つところもあり、今後については、ご指摘の点をも踏まえ制度充実に向けて前向きに検討したい。

**質問2** 都市計画道路の西玉垣一秋永線の市道延伸工事はかなり進捗しているが、ごく一部の地権者が用地買収に協力しないため開通の目途が立っていない。「公共の福祉」のため、最終的には強制収用も検討すべきではないか。

**答弁2** 事業用地とする土地の一部が未だ買収できていないのは事実。地権者の理解を得るべく今後も誠意をもって対処したい。ただ、速やかな事業推進が求められていることも認識しており、重要性、緊急性等を総合的に判断して事業を推進すべきと考えている。

## 市政研究会 中村 浩 議員



- 1 単独公民館の指針について
- 2 Cバスについて

**質問1** 単独公民館長の報酬が他市と比較して低額であると思うが、見直しの考えは。単独館でも諸証明(住民票・印鑑証明書)の交付ができないか。また証明書自動交付機の設置はできないか。

**答弁1** 単独公民館の館長は地域からの推薦による就任で、非常勤嘱託職員としてお願いしているが、限られた財政状況であるので、その職務や勤務の実情も勘案し、今後研究したい。諸証明交付は、行政区単位に設置している地区市民センターを基本としたい。一方、

自動交付機の設置は多額の経費を要するが、市民課の証明窓口混雑解消の有力な手段であり、住民サービスにも繋がることから引き続き検討したい。

**質問2** 全市的な交通網整備の検討を進めていくにあたり先進事例(千葉県柏市等)の視察に職員を派遣してはどうか。

**答弁2** 職員派遣の視察先を検討する場合、本市が取り組もうとする方向性に合致している事例を調査、研究していくべきであるが、今後、他都市の先進事例の詳細な情報収集を行いながら、職員派遣については慎重に検討したい。柏市の事例についても参考にすべきところは積極的に情報収集していきたい。

## 公明党 森しず子 議員



- 1 高齢者施策について
- 2 小学校5・6年生で始まる外国語活動について

**質問1** 高齢者保健福祉計画で、地域密着型サービスの基盤整備の事業実績と今後の計画を問う。また市営住宅の対応の現状と更新する道伯・十宮・玉垣地区の考え方は。

**答弁1** 現在、グループホームが13か所、小規模多機能型居宅介護事業所が4か所、認知症対応型通所介護事業所が3か所指定を受けている。今後も高齢者が身近な地域でサービスを受けられるよう取り組みたい。既存市営住宅のバリアフリー化や、高齢者・障害者世帯

に配慮した施設の改修を行っている。また「鈴鹿市版住生活基本計画」の策定に向け、現在、検討中である。

**質問2** 小学校5・6年生で始まる外国語活動について、学習指導要領改訂の趣旨等、本市の小学校の状況はどうか。本格実施に向けて今後の取り組みは。

**答弁2** 新学習指導要領において小学校外国語活動は、コミュニケーション活動を体験することで中学校の学習の素地を養うことを目標としている。現在は、国際理解教育の一環として取り組み、平成23年度に円滑に導入できるよう「小学校英語推進委員会」を立ち上げ、鈴鹿市版カリキュラムづくり等について検討を始めている。また、教育研究所において継続的、計画的に研修会等を開催していきたい。

## あくていぶ21 森喜代造 議員



- 1 団塊世代の取り組みについて
  - (1) 定年後の就労について
  - (2) 地域の公民館活動の参加について
- 2 子供たちの安全確保について
- 3 災害時における職員の体制について

**質問1(1)** 遊休農地の有効活用を市はどのように考えているのか。農協が運営している農業大学の内容について。企業への仕事の斡旋はしているのか。

**答弁1(1)** 市は、ふれあい農園を開設する者に対し補助制度を設けており、農協が運営しているいきいき農業大学は年間40名を募集し、農場で実習をしている。高齢者の就労については、ハローワークやシルバー人材センターなどと連携して課題解決に取り組むたい。

**質問1(2)** 趣味やスポーツの集いの拠点づくりやサークルの見直しは考えているのか。

**答弁1(2)** 団塊世代の方の経験や能力を活用できる機会の提供に努め、サークル活動は自主性を尊重しながら、多くの市民の参加機会を提供していく。

**質問2** 不審者から子供を守る対策や登下校の交通安全対策、安全パトロール隊の活動内容について。

**答弁2** 市のメルモニで防犯メールの配信をして、登校時は保護者、下校時は地域の方々が主に交通指導や見守り活動をしていただいている。青色回転灯パトカーも毎日出動し防犯や不審者の抑止力になっている。

**質問3** 職員の緊急出動や防災訓練について。

**答弁3** 地域防災計画に基づき、災害発生時には非常配備体制を、平時は各種防災訓練を実施している。



## 緑風会 藪田 啓介 議員

- 1 鈴鹿市の市道と歩道について
  - (1) 農業振興地域における市道認定の経緯と現状はどうか
  - (2) 三日市地区における農作業車両と歩道の関連について

**質問1(1)** 当市の重要基幹道路である中央道路と並行する「ふるさと農道」整備事業と農地整備事業および市道認定の経緯および現状はどうか。ふるさと農道には両側に3メートルの自転車・歩行者道があるが、両側に歩道を整備するにあたり、地元との話し合いはどうであったか。

**答弁1(1)** 算所・三日市地区のふるさと農道の整備は、

地元や地権者の多大な理解と協力をいただき、完成した重要な道路である。現状は7メートルの車道と両側3メートルの歩道がある市道である。地元への説明会は当時の道路課・耕地課等で行い道路幅幅にあわせ安全性の確保を重視した。

**質問1(2)** 歩道の安全確保と農作業車両の関連はどうか。農業・商業・工業振興と社会資本としての道路整備についての見解はどうか。

**答弁1(2)** 車・歩道の分離を基本施策としながら関係地権者、役員の要望と協力をいただき安心して通行できる道路事業推進を図っている。社会資本整備には、地元・地権者の理解・協力が不可欠であり多面的な役割・機能と農業振興の両面がともに生きる方策の検討を進めていく。



## 無所属クラブ 板倉 操 議員

- 1 鈴鹿の子どもたちの進路保障の件
  - (1) 神戸高校・亀山高校定時制の統廃合について
- 2 就学前の外国籍の子どもたちの件
  - (1) 生活言語の習得について

**質問1(1)** 県の方針で神戸高校と亀山高校の定時制を統廃合し、11年度飯野高校に新設校を創ることが発表された。この件についての協議会では、現場の先生方、PTA連合会代表等から問題点や課題が出されている。厳しい経済情勢や外国人児童の増加等により、生徒数は増加している。不登校経験者にとっても定時制は必要な学びの場でもある。働く場や生活圏に引き続き定時制を維持し拡充し、学びの場を確保すること

が子どもたちの進路保障に繋がると思う。鈴鹿市の考えはどうか。

**答弁1(1)** 県立高校の設置運営は一義的に県が担うものだが、地元として定時制高校が果してきた役割を維持拡充することを引き続き県に求めていく。

**質問2(1)** 小学校における外国人生徒に対する学習言語習得の教育は、充実し研究も進んでいるが、そこに繋げる就学前の児童への対応はどうか。

**答弁2(1)** 公立幼稚園児については、園生活の中で意図的にその場に応じた日本語習得をめざす研究と実践を続け、学力保障の土台をつくる。保育所では保護者の意識改革をうながすと共に、正しい日本語で児童に接することを基本にして、学習言語に繋がっていく生活言語の習得をめざしていく。



## 無所属クラブ 杉本 信之 議員

- 1 地域自治区と地域協議会について
- 2 多文化共生について
- 3 無就労若年者への支援について
- 4 全国学力テストについて

**質問1** 地方自治法が改正され、住民自治を強化する方法として地域自治区を設定し地域協議会を置くことができるようになった。導入を考えないか。

**答弁1** 導入の考えは無い。鈴鹿独自の地域づくり協議会の設置を各地域に促し住民自治を推進したい。

**質問2** 多文化共生担当課の設置と多文化共生のプランや計画の策定が必要と思うが、どう考えるか。

**答弁2** 一昨年設置した市民対話課の中の外国人交流室が中心となり、昨年「多文化共生推進庁内会議」

を立ち上げ、外国人と関わる各課の担当者を一同に集め外国人施策を推進している。8月末現在外国人登録者数は1万399人で総人口の5%を占めており現在多文化共生推進指針の策定準備をしている。

**質問3** 鈴鹿にいる約1千人の15歳から34歳の無就労者の支援をどのようにしていくのか。

**答弁3** 三重県の若者自立支援センターと連携しつつ支援していきたい。

**質問4** テスト結果をどう活用したか。学校は色々やる事も多いので今後参加を見合わせたらどうか。

又、国に抽出でのテストを働きかけたらどうか。

**答弁4** 19年度の結果を分析し、指導改善につなげるよう努めた。来年も参加し調査結果を活用したい。

## 日本共産党 森川ヤスエ 議員



- 1 中学校給食について
- 2 国保資格証発行について
- 3 障害者自立支援法について

**質問1** 学校給食実施を検討する場合の基本的な考えは。

**答弁1** 学校給食法の趣旨を踏まえた取り組みに努める。

**質問2(1)** 検討委員会のあり方がランチサービスに偏重し、はじめから答はデリバリー給食と選択肢が決められているような検討委員会の改善を求める。

**答弁2(1)** 他市においてランチサービスのようなデリバリー方式で実施しているところもあり、鈴鹿市の中学

校給食を検討するうえで重要な事項である。

**質問2(2)** 健康保険の資格証発行は命に直結するのでやめること。特に義務教育期間の子どものいる世帯の保険証取り上げは子どもに親の責任を取らせていることになり問題である。子育て世帯は無条件で保険証の発行を求める。

**答弁2(2)** 資格証の発行は2002年の法改正で決められている。しかし子どもに親の責任を問うものではない。

**質問3** 障害者通所サービス補助を四日市市と比べた場合、差額を改善する検討をしていないのか。

**答弁3** 国の法改正を見定めていきたい。

## 日本共産党 石田 秀三 議員



- 1 乳幼児医療費助成について
- 2 公立幼稚園の統廃合について

**質問1** 昨年9月から鈴鹿市は独自策として、乳幼児医療費の無料化を「4歳未満児」から「就学前」までに引き上げた。その後三重県も対象年齢を引き上げ、この9月から実施となった。そのために市の負担すべき費用が減ったが、これを「余裕財源」として、さらに対象年齢を引き上げることを求める。

**答弁1** 市独自の助成に年1億3千万円を負担しているが、県の助成拡大により6,500万円市負担が減ることになる。一方、対象を小学校卒業までに拡大すると入院

のみで約3千万円、通院も入れると約2～2.5億円の費用がかかる。これから検討したい。

**質問2** 公立幼稚園23園の統廃合をするための「鈴鹿市幼稚園再編整備検討委員会」が設置され、検討が進んでいる。出された再編案は、およそ半分の12施設に減らすものとなっているが、小学校併設という鈴鹿の特色がなくなり、周辺部に子育てがしにくい地域を作ることにならないか。また、当事者である保護者の生の声を聞くべきである。

**答弁2** 園児の定員割れなどの問題があり、中学校区を単位として、再編の計画を検討している。自由に園を選択できる、4歳児も全員入園できるという案である。今後保護者の声も十分聞いていく。

## すずか倶楽部 原田 勝二 議員



- 1 「もみがら」の活用と資源問題について
- 2 行財政改革・事業仕分けについて

**質問1** 鈴鹿市内の「もみがら」の年間の発生量とその処理方法や活用方法は。また新たな活用施策を考えているのか。

**答弁1** 市内における「もみがら」の年間発生量は3,450トンで、その活用方法は、畜産農家・畑作農家・茶農家などで活用されているが、一割位は焼却処理されていると推察する。他市では、「非常用備蓄燃料」の開発例もあると聞いているので、今後は、SUZUKA産学官交流会の場で「もみがら」の資源活用について、話

題にしていきたい。

**質問2** 事業仕分けとは何か。国・県・他市の事業仕分けの推進状況は。また鈴鹿市において事業仕分けを必要とするのか。

**答弁2** 「事業仕分け」は、行政サービスの見直し手法の1つとして、「\*構想日本」が、平成14年に提唱したもので、行政が実施している事業について、そもそも必要か、行政と民間のどちらがやるべきか等を検討し、整理していく手法である。当市では、現在、事務事業評価や集中改革プランにより、行政サービスの見直しに取り組んでいるが、その目的とするところは「事業仕分け」と同じくするものである。

\*非営利の政策シンクタンク



## 市政研究会 市川 哲夫 議員

- 1 幼稚園・保育園の一元化について
- 2 学校プールの消毒槽について
- 3 野井戸の安全性について

**質問1** 幼稚園と保育園の一元化に向けた鈴鹿市の取組状況はどうなっているのか。

**答弁1** 幼稚園機能と保育園・保育所機能を備えた幼保一元化の施設は選択肢の一つとして多くの保護者が求めているのではないかと。老朽化の進んだ施設、過疎化の進んでいる地域あるいはニーズの高い地域からモデル的にでも実施していくべきであるといった意見がある中で鈴鹿市幼稚園再編整備検討委員会で再編整備案の提案をさせていただき、本年度中に答申を

頂き平成21年度には議員の皆さんのご意見を頂きながら計画を策定していくことを考えている。

**質問2** 消毒槽を使用せずシャワー使用指導をしているところもあるが本市の指導の現状はどうか。

**答弁2** 各校の児童生徒の状況を事前に把握した上で学校長が体育担当教諭や養護教諭、薬剤師等との協議において決定しており、学校により適切なシャワー洗浄の対応をしていく。

**質問3** 郡山小学校区にある多くの野井戸へのハード・ソフト面での安全確保に向けた取組はどうか。

**答弁3** 立て看板、パトロール活動、危険箇所点検等、学校・PTA・地域との連携を深め子どもたちの安全安心の確保を地道に継続し、取り組んでいく。



## すずか倶楽部 後藤 光雄 議員

- 1 シティセールスについて
  - (1) 市内の推進状況について
  - (2) 情報の発信について
- 2 鈴鹿いきいきスポーツ都市宣言について
  - (1) 検証と改善について

**質問1(1)** シティセールスの取組が市内一丸となって進められているか。

**答弁1(1)** 本市の強みと弱みをもとにSWOT分析をし、各部署で強みを活かした施策に取組んでいる。

**質問1(2)** 鈴鹿を訪れる人たちに対する情報提供や、迎える市民向けの情報も十分ではないと思うが<sup>※</sup>「i」マークや電光掲示を利用した情報発信などの取組は

できないか。

※案内所、情報ターミナル

**答弁1(2)** 鈴鹿らしさの度合いの強い素材を優先し費用対効果面で効率的な発信手段で展開したい。

**質問2(1)** 14年に宣言した「いきいきスポーツ都市宣言」の取組の検証と改善点はあるか。又、施設不足の解消に学校のグラウンドの夜間照明設置や空き教室の使用等は考えられないか。

**答弁2(1)** 「一人ひとつのスポーツ」を大きな目標にして展開してきた。策定委員会の意志をもとに新たに計画的な取組をしていく。ナイター施設は設置要望が出されればスポーツ課と連携協議していく。空き教室の利用は、安全上の配慮や設備上の問題等を学校の実情に応じて検討していきたい。



## 市政研究会 森 義明 議員

- 1 道路政策に対する執行部の姿勢
- 2 直面している課題と事業推進
- 3 集中豪雨に備え金沢川早期改修を
- 4 不燃物処理場第2期建設事業とレインボー計画における周辺整備と環境整備はいかがか。

**質問1** 鈴鹿市の道路行政は停滞していないか。3役、上層部、現場の職員の関係は、与えられた仕事の対応意識を改革すべきでは。地権者への対応に問題はないか。敏速、誠意、決断、情を持ち対応すべきでは。行政が一体となり取り組み努力すべきである。

**答弁1** 重要路線の市道整備には迅速、着実な推進に向け、全力を注ぎたい。

**質問2** 加佐登鼓ヶ浦線の整備に4年間が必要か。平野三日市線における遅れは如何か。

**答弁2** 加佐登鼓ヶ浦線は平成23年度完成を目指したい。平野三日市線は、誠意を持って対応してきたが、早期解決を目指し、取り組みたい。

**質問3** 早期改修すべきであるが如何か。

**答弁3** 抜本的治水対策として、整備を進めている。

**質問4** 整備方針はどのように考えているか。国分・高岡町などへのPFI手法による事業実施状況や生活環境への影響について説明すべきでは。

**答弁4** リサイクルセンター環境保全連絡協議会と相談の上で、事業化を図れる事業は優先的に実施し、説明会等の必要がある場合には適切に対応していきたい。

## 市政研究会 大西 克美 議員



- 1 学校給食費について
- 2 市発注工事の品質確保について
- 3 滞納市税について

**質問1** 子どもたちの栄養価の確保のため、質や量を少なくするより、給食費を適正な価格にすべきでは。給食費の未納者の現状についてはどうか。

**答弁1** 物価高騰が影響しているが、栄養価を落とさない工夫をしているが、現在「給食費検討委員会」で給食費改定の検討中である。未納者については、本市でも保護者としての責任感や規範意識の低下などにより存在するので、様々な対策に努めたい。

**質問2** 公共工事は適正価格による発注で品質を確

保する必要があるが、対策はどうか。

**答弁2** 総合評価落札方式の試行導入、最低制限価格の設定、低入札調査制度の運用、工事検査の徹底等の対策を講じているが、引き続き現状に即した適切な対応に努めていく。

**質問3** 近年の滞納者数、市税3税の滞納金額、及び収入未済額の推移は。収入未済額を減らすため専門的な人材を配置し、プロジェクト・チームを設置したり、コンビニ収納をしてはどうか。

**答弁3** 平成19年度で市税と国保税を含めて約2万人、22億3400万円である。未済額は約21億円と増加傾向で、今後は市税の徴収により力点を置いた機動力のある組織体制を目指す。コンビニ収納は、現在導入に向け進めている。

## 新政会 佐久間浩治議員



- 1 神戸中学校新校舎建設の入札
- 2 市内の運動施設について

**質問1** 入札の経緯と結果で、屋内運動場棟移転改築工事が2回も応札がなかったのはなぜか。12月定例会の議案上程の確約はできるのか。もし上程できても工期を含め、今後の入札の予定をどう考えるか。

**答弁1** 神戸中学校の移転改築工事については、5工事に分けて発注したが、屋内運動場棟移転改築工事については応札者がなく、9月の上程は見送った。入札条件や予定価格、大手ゼネコンの多くが公共事業の指名停止中など色々と考えられる。今後は入札条件や

受注環境等も精査し、応札が確実に見込めるよう考慮の上、工期の間に合う12月上程を目指す。

**質問2** 県下一番の硬式野球場建設について、昨年の3月定例会で質問したが、その後の取組み状況は。鈴が谷運動広場について、野球・ソフトボールの使用中止理由は。施設の安全対策等、今後の利用法は。

**答弁2** 硬式野球場の建設は、関係機関と連携を図り、三重県に対し働きかけを強めたい。鈴が谷運動広場については、指定管理者の安全点検において、ファウルボールが駐車場、道路に飛び出し危険であり、安全対策が必要があるとの報告を受けた。今後は、利用者へのアンケート結果等を参考に、現状の施設においてどのような使用が可能かを早急に検討したい。

## 常任委員会活動状況

常任委員会(総務・文教福祉・生活産業・建設水道・予算決算)では、定例会において付託された議案や請願の審査のほか、所管事務事項や閉会中の継続調査となった事項についての調査・現地視察を行いました。

### 総務委員会

7月16日(水)

7月18日(金)

高崎市  
新発田市  
松戸市



「電子入札制度他について」「施策別砕配分方式他について」「救急体制について」



## 文教福祉委員会

7月22日(火)  
～  
7月24日(木)

鹿児島市  
宮崎市  
伊丹市



「応急診療体制の推進について」

## 生活産業委員会

7月22日(火)  
～  
7月24日(木)

佐賀市  
佐世保市  
長崎市



「佐賀環境フォーラム他について」  
「エコツーリズム推進事業について」「長崎さるくについて」

## 建設水道委員会

7月28日(月)  
～  
7月30日(水)

福岡市  
熊本市  
大牟田市



「公園と河川の一体整備について」「公園整備のあり方について」  
「下水道事業について」

## 予算決算委員会

9月16日(火)・25日(木)  
(全体会)

9月17日(水)  
(文教福祉・建設水道分科会)

9月19日(金)  
(総務・生活産業分科会)



「予算決算議案の審査」

# 議会の動き (議長・副議長の公務等)

## 7月

- 1日 鈴鹿の山開き式(議長,関係議員)
- 3日 北勢公設地方卸売市場早朝視察(関係議員)  
北勢5市議会懇話会(正副議長)
- 4日 鈴鹿の海開き式(議長,関係議員)  
棕川改修促進期成同盟会総会(議長)
- 7日 鈴鹿市交通安全都市推進協議会委員会(総会)  
(議長,生活産業委員長)
- 8日 各派,広報
- 10日 鈴鹿川改修促進期成同盟会総会(議長)
- 11日 鈴鹿市健康づくり推進協議会(議長,関係議員)
- 14日 議会改革特別委員会
- 15日 全協,政調,総務委員会,建設水道委員会,広報
- 16日 生活産業委員会,  
中勢バイパス建設促進期成同盟会定期総会(議長)  
三重県後期高齢者医療広域連合議会臨時会(議長)
- 17日 国道306号整備促進同盟会総会(議長)
- 16日～18日 総務委員会行政視察(高崎市,新発田市,松戸市)
- 19日 鈴鹿市老人クラブ連合会大会(議長,議員)
- 22日 一般国道1号関バイパス建設促進期成同盟会,鈴鹿龜山道路  
建設促進期成同盟会総会(議長),農業委員会総会  
(議長,関係議員)
- 22日～24日 文教福祉委員会行政視察(鹿児島市,宮崎市,伊丹市)  
生活産業委員会行政視察(佐賀市,佐世保市,長崎市)
- 25日 日中友好促進三重県市議会議員連盟役員会(副議長)
- 28日～30日 建設水道委員会行政視察(福岡市,熊本市,大牟田市)
- 30日 中ノ川改修工事促進期成同盟会総会(副議長)
- 31日 鈴鹿中央総合病院運営協議会(副議長,関係議員)

## 8月

- 1日 鈴鹿バルーンフェスティバル組織委員会(議長)
- 4日 生活産業委員会

略称/各種会議名	各派/各派代表者会議	政調/政務調査費経理責任者会議
議運/議会運営委員会	全協/全員協議会	広報/議会広報広聴委員会

- 5日 各派,広報,北勢5市議会臨時懇話会(副議長),  
北勢5市議会合同研修会(正副議長,議員)
- 7日 堀切川改修促進期成同盟会総会(議長)  
北勢公設地方卸売市場組合議員・関係者合同研修会(関係議員)
- 11日 地震防災特別委員会
- 12日 全協,政調,総務委員会,文教福祉委員会
- 20日 三重県小学校長教育研究鈴鹿・亀山大会(議長)
- 21日 議会改革特別委員会
- 22日 北勢広域営農団地農道整備事業推進協議会総会(議長)
- 25日 各派,議運,  
鈴鹿中央線延伸バイパス道路整備促進期成同盟会総会(議長)
- 26日 パラリンピック北京大会出場に伴う伊藤智也選手壮行会  
(正副議長他)

## 9月

- 1日 本会議・議運・各派
- 8日 本会議・広報
- 9日～11日 本会議
- 12日 議運・各派
- 16日 本会議・予算決算委員会
- 17日 文教福祉委員会・予算決算委員会分科会,建設水道委員会・  
予算決算委員会分科会
- 19日 総務委員会・予算決算委員会分科会,生活産業委員会・  
予算決算委員会分科会
- 21日 鈴鹿市消防操法大会(正副議長,総務委員長,議員)
- 23日 鈴鹿市学校給食センター竣工式(正副議長,文教福祉委員長,議員)
- 25日 予算決算委員会・広報・議運
- 29日 議運・各派
- 30日 本会議・全協・政調  
鈴鹿市スポーツ栄誉賞贈呈式(正副議長他)

# 議決一覧表 (9月定例会)

議案番号	件名	議決内容	
議案第 49号	専決処分の承認について	原案可決	全会一致
議案第 50号	平成20年度鈴鹿市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	賛成多数
議案第 51号	鈴鹿市景観づくり条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第 52号	鈴鹿市土地開発公社定款の一部変更について	原案可決	全会一致
議案第 53号	工事請負契約について	原案可決	全会一致
議案第 54号	工事請負契約について	原案可決	全会一致
議案第 55号	工事請負契約について	原案可決	全会一致
議案第 56号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第 57号	市道の廃止について	原案可決	全会一致
議案第 58号	市道の認定について	原案可決	全会一致
議案第 59号	平成19年度鈴鹿市一般会計決算の認定について	認定	賛成多数
議案第 60号	平成19年度鈴鹿市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第 61号	平成19年度鈴鹿市土地取得事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第 62号	平成19年度鈴鹿市福祉資金貸付事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第 63号	平成19年度鈴鹿市住宅新築資金等貸付事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第 64号	平成19年度鈴鹿市老人保健特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第 65号	平成19年度鈴鹿市下水道事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第 66号	平成19年度鈴鹿市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第 67号	平成19年度鈴鹿市介護保険事業特別会計決算の認定について	認定	全会一致
議案第 68号	平成19年度鈴鹿市水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について	認定・原案可決	全会一致
議案第 69号	鈴鹿市教育委員会委員の任命同意について	原案可決	全会一致
議案第 70号	人権擁護委員候補者の推薦同意について	原案可決	全会一致
議案第 71号	人権擁護委員候補者の推薦同意について	原案可決	全会一致
議案第 72号	人権擁護委員候補者の推薦同意について	原案可決	全会一致
議案第 73号	人権擁護委員候補者の推薦同意について	原案可決	全会一致
委員会発議案 第1号	鈴鹿市議会会議規則の一部改正について	原案可決	全会一致
委員会発議案 第2号	「義務教育費国庫負担制度の存続と、負担率2分の1への復元」を求める意見書	原案可決	賛成多数
委員会発議案 第3号	「30人学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充」を求める意見書	原案可決	賛成多数
委員会発議案 第4号	「『学校安全法』(仮称)の制定をはじめとする総合的な学校の安全対策」を求める意見書	原案可決	賛成多数
発議案第 8号	鈴鹿市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
発議案第 9号	鈴鹿市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議員発議案 第10号	「保育制度改革」の見直しを求める意見書	原案可決	賛成多数
議員発議案 第11号	生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書	原案可決	賛成多数

請願番号	件名	議決内容	
請願第 5号	自主的な共済制度を新保険業法の適用除外とする意見書を国に提出を求める請願書	不採択	賛成少数
請願第 6号	「保育制度改革」の見直しを求める意見書の提出を求める請願書	採択	賛成多数
請願第 7号	「義務教育費国庫負担制度の存続と、負担率2分の1への復元」を求める請願書	採択	賛成多数
請願第 8号	「30人学級を柱にした義務教育諸学校および高等学校次期定数改善計画の策定、教育予算拡充」を求める請願書	採択	賛成多数
請願第 9号	「『学校安全法』(仮称)の制定をはじめとする総合的な学校の安全対策」を求める請願書	採択	賛成多数
請願第 10号	生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書の提出に関する請願書	採択	賛成多数

## 12月の会議日程

11月 25日(火)	10:00 本会議(開会)(本会議終了後 議会運営委員会)	12月 11日(木)	10:00 常任委員会[総務・生活産業分科会]
12月 2日~5日(火~金)	10:00 本会議(一般質問)(5日本会議終了後 議会運営委員会)	12月 12日(金)	10:00 常任委員会[総務・生活産業分科会]
8日(月)	10:00 本会議(質疑)(本会議終了後 予算決算委員会)	12月 16日(火)	10:00 予算決算委員会
9日(火)	10:00 常任委員会[文教福祉・建設水道分科会]	12月 18日(木)	10:00 議会運営委員会
10日(水)	10:00 常任委員会[文教福祉・建設水道分科会]	12月 19日(金)	10:00 本会議(閉会)

※日程は変更される場合があります。

## 会議録のお知らせ

一般質問や議案質疑など本会議の詳しい内容については、会議録が閲覧できますのでご覧ください。9月定例会の会議録は、12月中旬に市立図書館及び各地区市民センターなどに配布予定です。また、鈴鹿市議会ホームページに、会議録検索システムを掲載していますのでご覧ください。

## 傍聴のご案内

本会議や常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会及び全員協議会は傍聴できます。日程は市役所の掲示板と市議会のホームページに掲載します。ただし、日時が変更になる場合がありますので、傍聴する場合は、事前に議会事務局へご確認ください。電話 382-7600

## テレビ中継のお知らせ

本会議の一般質問を、CNSテレビ(アナログ20ch・デジタル702ch)で生放送します。放送時間は、午前10時(開会時間)から会議の終了までです。ぜひご覧ください。